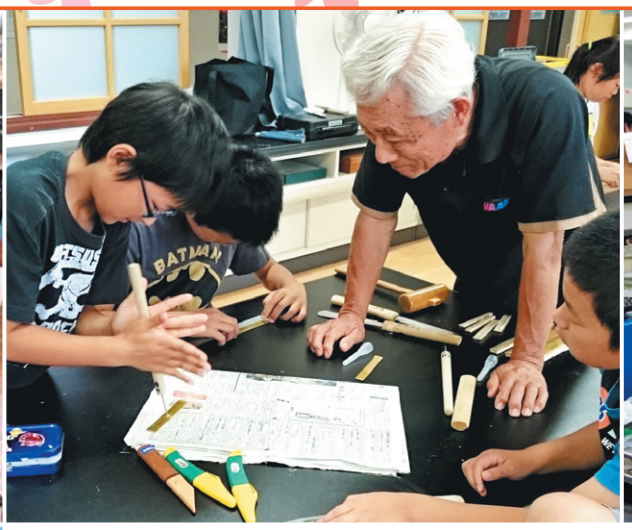
府教委
広報

きょうとふの教育

No.133 平成28年4月

発行：京都府教育委員会
編集：京都府教育庁管理部総務企画課
電話：075-414-5710
URL：http://www.kyoto-be.ne.jp



春爛漫の季節を迎え、児童・生徒の皆さんもフレッシュな気持ちで新学期のスタートを切られたことと思います。入学・進級された皆さん一人一人が、かけがえのない存在として温かく見守られ、健やかに成長していけるよう教育活動を進めてまいります。

京都府では、「京都式少人数教育」やそれぞれの学校での指導方法の改善など、学力を向上させる取組を行っており、着実な成果が表れてきています。また、府立高校や府立特別支援学校では、生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育の実践を進めてきました。

近年、府内における非行少年の検挙・補導人数は年々減少している反面、大麻など薬物の乱用が低年齢化し、拡大するという危機的な状況にあります。学校、警察、家庭が連携をさらに密にし、薬物乱用の防止から根絶に向けた取組が必要です。

また、昨年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳に引き下げられました。京都府では、人や社会とつながり共生していくための力を身につけさせることを目標に、「法やルールに関する教育」を推進していますが、地域住民としての社会参画意識を向上させ、有権者としての自覚を高める取組をさらに進めてまいります。

このような社会の変化を踏まえて、今年1月に、京都府の教育の指針である「京都府教育振興プラン―つながり、創る、京の知恵―」を改定しました。その概要を中面に掲載していますので、ご覧ください。

今後も、本プランをもとに、子どもが安心して学校に通うことのできる環境づくりを行うとともに、京都の未来を担う人材の育成に向け、皆様からのご支援もいただきながら、社会総がかりで取り組む教育を着実に進めてまいりたいと思います。

京都府教育委員会
教育長　小田垣　勉

平成28年度に京都府教育委員会が府民の皆様からお預かりした予算

総額 1,876億3,100万円

詳しくは中面をご覧ください

平成28年度当初予算

総額1,876億3,100万円

平成28年度当初予算や「京都府教育振興プラン」の詳しい内容、教育に関する取組などは京都府教育委員会のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

学力向上に向けた支援の充実

すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう教育環境を充実します。

- 学校や児童が抱える課題解決に向けて、教育や福祉の専門家チームを学校に派遣・配置します。
- 学習のつまずきを解消するため、小学4・5年生への個別補充学習を行います。
- 小学校段階の学習のつまずきを解消するため、中学1年生を対象に振り返り集中学習を行います。
- 学力向上のため、土曜日などを中心に中学2年生への学力アップ集中講座を行います。
- 希望する進路の実現を図るため、地域の協力により原則無料の学習支援を行う「地域未来塾」を支援します。
- 中学校段階までの学習の不安を解消するため、府立高校で「セカンドラーニング教室」を開設します。

グローバル人材の育成

国際社会で活躍できる語学力やコミュニケーション能力、多様な文化への理解等の素養を備えた人材の育成をめざします。

- 英語教育充実のため、TOEIC受験と集中セミナーの実施により、中学校教員の英語力、指導力の強化を図ります。
- 教育旅行や観光旅行などで訪日した外国人と府立高校生との「おもてなし文化交流」を行います。
- 英国エディンバラ市をはじめとした世界各地への府立高校生の語学研修や留学に必要な費用の一部を補助します。
- 京都にゆかりの深い茶道や華道、古典などの伝統文化の学習をすべての府立高校で行います。

海外に留学したい高校生集まれ!

府立高校生の留学を支援するため、費用の一部を補助します。応募方法や費用などの詳細は、在籍する府立高校にお問い合わせください。

短期留学

エディンバラ語学研修
30名（7月下旬から8月中旬の3週間程度）
京都府と友好提携を結ぶ英国エディンバラ市でホームステイをしながら、「エディンバラカレッジ」で語学研修

オーストラリア語学研修
40名（7月下旬から8月中旬の2週間程度）
オーストラリア・アデレード市でホームステイをしながら、現地公立高校の授業に参加

海外短期留学チャレンジ
現地でスポーツやボランティア活動にチャレンジするなど、留学支援団体等が企画する短期留学に参加

中期留学

府立高校「海外サテライト校」
オーストラリア、カナダなどで京都府と現地高校が連携した2～4ヶ月程度の留学を実施
現地高校での授業を府立高校で単位認定したり、進学や卒業に影響がでないよう学業への配慮をしたりするなど京都府独自の留学制度

府立高校特色化の推進

様々に変化し続ける社会の中で、子どもの夢に応えられる府立高校であるために特色化を推進します。

- 府立高校を特色に応じて「スーパーサイエンスネットワーク京都」「グローバルネットワーク京都」「スペシャリストネットワーク京都」としてネットワーク化し、相互交流を行うことで魅力を高め合います。
- 独自性、独創性のある府立高校を京都フロンティア校として指定し、その府立高校ならではのきらりと輝く取組を推進します。
  - タブレット端末を積極的に取り入れた授業実践
  - 高校生が地域に愛着を持って地域創生に取り組む、地域創生推進校　など

- 全国のなかでも先進的な取組を行う高校として国から指定される、スーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクールやスーパープロフェッショナルハイスクールなどで専門性の高い教育をすすめます。
- 高校生のボランティア活動を支援し、地域とつながり、地域社会の活性化に貢献する取組を推進します。

特別支援教育の充実

障害のある子どもたち一人ひとりの自立と社会参加をめざす取組を推進します。

- 「京都府スーパーサポートセンター」を拠点に府内各地で専門的な研修や、専門家チームによる教育相談を行い、発達障害を含む障害のある子どもたちを総合的に支援します。
- 城陽支援学校高等部に生徒全員が企業就労を目指す「職業学科」設置に向けた取組を推進します。
- 労働関係機関などとのネットワーク構築や就労に向けた指導プログラムの開発など、キャリア教育や職業教育の充実を図ります。
- 府内の小中学校や府立高校で、合理的配慮協力員の配置などインクルーシブ教育システム※を構築するための取組を推進します。

※障害の有無にかかわらず、全ての子どもが共に学ぶ仕組み

主権者教育

公職選挙法が改正され、平成28年6月から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることになります。
府立学校においても、これまで以上に政治的教養をはぐくむ教育の充実を図っていきます。

- ボランティア活動など、地域に貢献する取組を通して、身近な地域社会への参画意識をはぐくみ、政治への関心を高めていきます。
- 主権者として必要な政治的教養をはぐくむため、府立学校全校でディベートや模擬選挙などの実践的な活動を行います。

薬物乱用防止・根絶

- PTAと連携した薬物乱用防止教室などの開催や、教員・警察・学校薬剤師など指導者に対する薬物乱用防止教室の研修会の開催など、薬物乱用ゼロに向けた取組を強化します。

いじめ・不登校対策

- スクールカウンセラー、心の居場所サポーターの配置や、24時間体制の電話相談の実施など、相談体制を整備します。
- フリースクールなどで学ぶ児童・生徒の支援や、適応指導教室の設置・機能拡充への支援を行います。

京都府教育振興プランを改定 28年度改定版が4月からスタート

平成23年に策定した京都府の教育振興基本計画「京都府教育振興プラン―つながり、創る、京の知恵―」では、「目指す人間像」や3つの「はぐくみたい力」を示しており、**社会総がかりで、幼児期から成人までを見通し、京都の力を活かしながら、京都の未来を創造する人づくり**に向けた教育に取り組んできました。
本プランの策定から5年が経過したことから、施策の進捗状況、新たな課題、社会情勢の変化などを踏まえ、今後5年間で必要な施策を盛り込み、改定しました。
ここでは、「京都府教育振興プラン」の平成28年度改定版のポイントを紹介します。

改定版のポイント

Ⅰ 社会の変化に対応できる力を身に付けるための教育の推進

- 活用する力の育成や学習意欲の向上に向けて、子どもが主体的・協働的に学習する取組を推進します。
- 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行を踏まえ、教育において、障害の有無にかかわらず誰もが共にいきいきと暮らしやすい共生社会づくりを推進します。
- 少子化が重要な課題となる中で、子どもが自身のライフデザインを考える力の育成に取り組みます。
- 選挙権年齢の引下げに伴い、よりよい社会の構築に向けて、主権者として自ら判断し行動できる資質や能力の育成に取り組みます。
- 外国語によるコミュニケーション能力の育成や、京都の伝統や文化を発信できる取組の推進など、グローバル化に対応できる人材の育成に取り組みます。

Ⅱ すべての子どもが安心して学校に通うことができる環境づくり

- 安心・安全な教育環境の整備として、
  ①いじめ、暴力行為対策の充実、
  ②不登校の子どもへのきめ細かな支援の充実、
  ③経済的に困難な環境にある子どもへの支援の充実に取り組みます。
- 少子化などを踏まえて府立高校とその課程や学科の在り方を検討するとともに、府南部地域に特別支援学校を新設します。

Ⅲ その他、今後5年間で実施すべき施策

- 薬物乱用の防止・根絶に向けた教育を推進します。
- たくましく健やかな身体の育成に向けて、食育の推進に取り組みます。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえ、スポーツの推進に取り組みます。
- すべての教育の出発点である家庭教育への支援として、ネットワークづくりに取り組みます。

教育委員の活動　平成27年度もたくさんの学校を訪問しました！

5名の教育委員は、毎月の会議に出席するほか、府内の学校を訪問し、様々な取組を見学するなど、府民の方と直接お話しする機会をもち、皆さんの声を会議の中で活かしています。

スクールミーティング

学校などを訪問して授業の様子を見学し、児童・生徒の皆さんや教職員、地域の皆さんと意見交換しました！

- 井手町立泉ヶ丘中学校
- 亀岡川東学園
- 南丹市立桜が丘中学校・園部小学校分教室
- 綾部市立東綾小学校
- 宮津市立府中小学校
- 京都府総合教育センター
- 京都府立丹後郷土資料館
- 京都府立山城高等学校
- 京都府立南丹高等学校
- 京都府立綾部高等学校由良川キャンパス
- 京都府立与謝の海支援学校

南丹高校の実習の様子を見学

意見交換会など

府内で行われている取組を見学したり、関係機関の皆さんと意見交換しました！

京都府総合教育センター職員と意見交換

- 高校生語学研修帰国報告会
- ミドルリーダー育成研修会
- ふれあい・心のステーション
- 防災キャンプ2015
- 公立高校フェスティバル
- グローバルネットワーク京都交流会
- 京都府・市教育委員会・府公安委員会との意見交換会
- 知事との意見交換会
- 近畿2府4県教育委員協議会

など

防災キャンプ2015の取組を見学

中丹教育局

「中丹「はぐくみたい力」育成プラン」を策定

中丹教育局では、3年間の中期目標として「中丹「はぐくみたい力」育成プラン」を策定しました。

これは、すべての子どもたちが生まれ育つ環境に左右されることなく、将来を切り拓いていくことのできる社会の実現を目指して取り組むためのプランです。具体的には、学校をプラットホームとした子どもの安心・安全な居場所づくり、質の高い学力の育成、社会的・職業的・経済的自立、社会の課題を協働して解決する力などをはぐくんでいくことを目指しています。

また、すべての子どもの学びを支える授業づくりなど、学校として大事にしてほしい6つの柱と18の視点を「中丹学力向上メソッド」として示し、「中丹版・力のある学校」づくりを進めるとともに、社会全体での家庭教育支援や地域とともにある学校づくりなど、社会教育の観点からも子どもを包み込み、豊かにはぐくむための3つのサポートに取り組んでいます。

平成27年度は、「連携」をキーワードとして各市教育委員会や関係機関との連携を進めてきましたが、平成28年度はさらに一歩進めて、「接続」をキーワードに取組を推進していきます。

丹後教育局

京都府研究指定校
小中一貫教育を通した「法やルールに関する教育」の取組

京丹後市立久美浜中学校区は平成28年度から施設分離型小中一貫教育校『久美浜学園』(総称)としてスタートしました。昨年度から校区の久美浜小学校、高龍小学校、かぶと山小学校と協働して、小中学校9年間を通じ、子どもの発達段階に合わせた「法やルールに関する教育」を推進しています。子どもたちが人や社会とつながり、自分らしく生きることのできる社会を形成するため、主体的に行動できる力の育成に取り組まれています。

昨年9月には、中学校の全生徒と3小学校の5、6年生を対象に、福井大学の橋本　康弘教授をお招きし、「公平」を学ぶ体験学習が行われました。この学習で小学生は、避難所の運営を想定し、避難所で生活している幼児から大人までの様々な500人に、300個のシュークリームをどのように配るかを考察しました。子どもたちは、配る優先順位を個人で考え、グループで交流や発表をすることにより、正解が1つではない課題に対し話し合いながら解決策を見出すことの大切さを学びました。

小中一貫教育校となり、より小中学校間の連携を強めることで、取組が一層充実することと思います。丹後教育局では、その実践などの支援に努め、成果の普及に取り組んでいきます。

平成27年度
文部科学大臣優秀教職員表彰 受賞者

受賞者

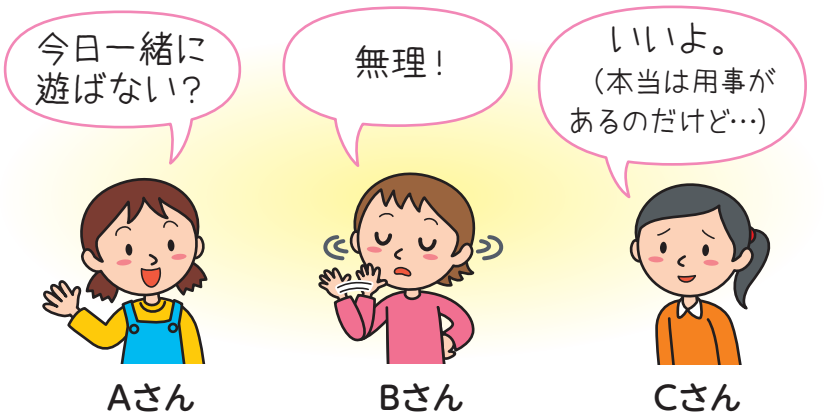
長岡京市立長岡第五小学校	教	諭	國永　千里
宇治市立大開小学校	教	諭	東地　祐子
京丹後市立大宮第一小学校	教	諭	小石原　由里子
木津川市立木津中学校	教	諭	西野　千代
京丹波町立蒲生野中学校	教	諭	久保　克敏
綾部市立綾部中学校	養護教	諭	森津　幸代
福知山市立夜久野中学校	教	諭	榎原　美佳
京都府立鳥羽高等学校	教	諭	北田　美香
京都府立西城陽高等学校	教	諭	塩川　朝子
京都府立福知山高等学校	教	諭	谷口　直子
京都府立宮津高等学校	教	諭	松本　清孝

府立西城陽高校
塩川　朝子　教諭

部員70名を超える合唱部を指導し、通算6回の全国大会出場や近畿大会での金賞受賞の常連校に導くなど大きな成果をあげている。

また、平成11年度から開講されている府民参加の合唱講座「みんなでハモりましょう」で、合唱指導を行うなど生涯学習の振興に大きく貢献している。

シリーズ 人権
相手の気持ちも自分の気持ちも大切に



友達どうしで遊ぶ約束をしている場面です。Bさんのように、自分の気持ちを一方的に伝えてしまったことや、Cさんのように相手の気持ちを優先させて自分の気持ちを伝えることができなかったことが、みなさんにも経験がありませんか。

相手の気持ちを傷つけずに自分の思いを正直に伝えたい時、例えば、用事があって遊べないのなら、「今日は前から決まっていた予定があるんだ。明日は大丈夫だから、一緒に遊ぼうよ。」と丁寧に答えれば、相手の気持ちも自分の気持ちも大切にすることができるでしょう。

これはほんの一例ですが、日常生活の中で、お互いの気持ちを大切にしたコミュニケーションをとることは、お互いを認め合い、尊重する関係を築くことにつながるのではないでしょうか。新学期、新しい環境での生活がスタートしました。相手も自分も大切にしたコミュニケーションを通して、より豊かな人間関係を築きましょう。

京都府高校生等修学支援事業

内　容　経済的理由により修学が困難な高校生に対する支援
①高等学校等修学金・修学支度金の貸与（貸付）制度
②修学支援特別融資利子補給制度・修学支度金特別融資利子補給制度

対　象　高等学校等在学の生徒で、親権者又は未成年後見人が京都府内に住所を有していること。（②特別融資は、その保護者）

手続き　現在高等学校等に在学している生徒は、在学する高等学校等にお問い合わせください。
現在中学校等に在学しており、平成29年度に高等学校等に進学予定の生徒は、平成28年10月頃から予約申請のご案内をしますので、在学している中学校等にお問い合わせください。
※いずれの場合も保護者の所得基準等要件があります。

留意事項　修学金・修学支度金は生徒が**将来返還しなければならない資金です。**

お問い合わせ先　在籍している高等学校、中学校　又は
京都府教育庁高校教育課　修学支援担当
電話：075−574−7518
住所：京都市伏見区桃山毛利長門西町（京都府総合教育センター内）

ひとりで悩まないで！

いじめられる、学校に行きにくい等、悩みや不安が一人では抱えきれないほどあふれてくることがあります。
京都府教育委員会は、そのような悩みについて一緒に解決の方向を探っていきたいと考えています。

電話教育相談（24時間受付）
ふれあい・すこやかテレフォン
075-612-3268
または 3301
0773-43-0390

メール教育相談
◆「メール教育相談 京都」で検索してください。
◆携帯電話からも相談できます。
※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。

来所教育相談
京都府総合教育センター（伏見区）及び北部研修所（綾部市）で、臨床心理士、精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

巡回教育相談
乙訓（向日市）・山城（京田辺市）・南丹（南丹市）・丹後（宮津市）の各教育局、アグリセンター大宮（京丹後市）で、臨床心理士等が直接会ってお話をうかがいます。

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

ネットいじめ通報サイト　ネット上でいじめを発見したら通報してください。

体罰専用電話　075-612-5013
（毎週水曜日 11:30〜18:30）